

自治体による地域経済振興と 中小企業・中小業者の役割

八幡 一秀 中央大学経済学部教授

11月23日、けんせつプラザ東京で「地域の活性化で企業も労働者も元気に」第5回「中小企業も元気に」シンポジウムが開催されました。コーディネーターとして問題提起を行なった中央大学経済学部教授の八幡一秀さんは中小企業・中小業者は大企業がもっていない創造力、利便性、社会性といった役割を果たし、地域内経済循環の担い手であると述べ、中小企業・中小業者が核となり地域経済を再生するための中小企業振興条例について話しました。八幡さんの問題提起の一部を紹介します。(見出し・文責とも編集部)

人間重視の地域社会へ

中小企業・中小業者を核に



八幡さん

利便性を通じて創造性を発揮し、地域に根をおろして地域社会を維持するということが、その地域の中で働く様々な労働者と連帯をしていく素地がすでに、中小企業・中小業者の中に存在しているということです。

全商連では夜のオリエンテリングが全国の民商で行なわれています。長野県飯田市では毎回千人の参加者がいて、市長も参加しています。埼玉県坂戸市の民商まつりは地域の祭りの担い手がいなくなつて民商がやってくたさい

金具を無料で取り付けることを90年代の終わりに始めています。それがつながつて簡便なリフォーム需要が掘り起こされています。さらに住宅アーダとか土建まつりで行なつていいます。ポニー乗馬やミニ上棟式も行なつていいます。こういうことをやることで、土建の業者が自分たちの地域の中にちゃん

中小企業・中小業者の人次は自分たちや自分たちの家族、もしくはそこで働く人やその家族、そしてその地域社会に対してお金を回していくという作業をやつていかないといいません。これを京都大学の岡田先生は地域内再投資力と表現しています。他の研究者は地域内経済循環と言つています。全部が地域内で回るといふことはありませんが、少なくとも大企業にお金を渡すと地元から外へお金は逃げていきます。

以前日本福祉大学におられた森靖雄さんは、「地域商店街の中小小売店での購買は資

現在、2007年に地域資源活性化法、2008年に農工商連携という政策が立て続けに打たれていきました。そ

農産物をはじめ、エネルギーも含めて、そういう地域で生産された1次的なものが2次に

の役割で岡山市など、どんどん加わつてきています。いろいろな地域の構成団体を中小企業・中小業者の振興の中に組み込んでいくことが今は当たり前になっていっています。

今後の方向性ですが、中小企業・中小業者を対象とした地域中小企業振興条例だけではなく、地域建設業に関わるものとして、公契約条例もしくは住宅や商店のリフォーム助成、また住民を主体とするまちづくり条例といういろいろな条例があります。これを農林水産業を含む様々な地域の中小企業・中小業者の振興政策を運用し予算措置などで連携させていくことが重要になってきます。



上棟式 (足立・建設フェスタ)

土建も近隣性・社会性アピール
東京土建の事例ですが、区市役所へ行くところでもしたい住宅相談窓口があります。これが最初に出来上がったのは江戸川支部が建設4団体で始めた窓口開設でした。阪神淡路大震災を契機として高齢者住宅に家具の転倒防止

自治体の中小企業振興条例づくりについて紹介します。地域内で資金循環を重視する政策にして行くためにはアメリカ型の政策、地域を重視するよ



耐震模型展示 (西多摩・防災フェスタ)

地域でお金を回す 農業と商工業をつなげる

金銭他地域に逃げていかなければ地域の経済とか農業が厳しいことの現れです。そういう中で従来の縦割りの行政であった農業と商工業をつなげていくということが政策的に出てきたことは非常に大きいことです。

そこで地域内でも農業などのいわゆる原材料を使って製造、流通、サービス、飲食などがなされ、そういう方々が1次と2次と3次がくついでいわゆる「6次産業化」が進展する。これは何を意味するかというと、実はその地域の中で連携が多様になって、ものづくりがものづくりだけでなくなっています。

農業を始め、エネルギーも含めて、そういう地域で生産された1次的なものが2次に

もしくは3次に伝搬していくという連携の多様性が進んでいるし、もつとやつていかなくはないけません。そういうことによって経済合理性がより一層発揮できるということになります。もちろん地域産品の地域内外への販売の拡大とか、地域内所得をどんどん確保していくことにつながっていく、地域が豊かになっていくということになります。

自治体の振興条例づくり あるものを何とかする

自治体の中小企業振興条例づくりについて紹介します。地域内で資金循環を重視する政策にして行くためにはアメリカ型の政策、地域を重視するよ

自治体の中小企業振興条例づくりについて紹介します。地域内で資金循環を重視する政策にして行くためにはアメリカ型の政策、地域を重視するよ

自治体の中小企業振興条例づくりについて紹介します。地域内で資金循環を重視する政策にして行くためにはアメリカ型の政策、地域を重視するよ

自治体の中小企業振興条例づくりについて紹介します。地域内で資金循環を重視する政策にして行くためにはアメリカ型の政策、地域を重視するよ

自治体の中小企業振興条例づくりについて紹介します。地域内で資金循環を重視する政策にして行くためにはアメリカ型の政策、地域を重視するよ

地域深く掘り下げ 様々な構成団体組み込む

振興計画をつくる前に何をやるのか、やはりそれぞれの地域の資源、地域の宝と

振興計画は地域の中小企業業者の実態把握が重要です。

振興計画は地域の中小企業業者の実態把握が重要です。

振興計画は地域の中小企業業者の実態把握が重要です。

有名なのは1979年の墨田区です。以来、様々な市区町村のレベルでいろいろな

有名なのは1979年の墨田区です。以来、様々な市区町村のレベルでいろいろな

有名なのは1979年の墨田区です。以来、様々な市区町村のレベルでいろいろな

有名なのは1979年の墨田区です。以来、様々な市区町村のレベルでいろいろな

有名なのは1979年の墨田区です。以来、様々な市区町村のレベルでいろいろな